

令和5年度 串間市立金谷小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン：豊かな心を持ち、自ら考え、正しく判断し、進んで実践するたくましい児童の育成

【評価】 4：非常によい、3：よい、2：概ねよい、1：改善が必要

重点目標	評価項目	平均（4点満点）					考察及び改善策	評価委員	学校関係者評価委員の意見
		児童	保護者	職員	平均	総合			
確かな学力の向上【知】	①学校は、「分かる・できる」授業をとおして、学力の向上に努めている。	2.9	2.9	3.5	3.1	3.2	<p>総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率は90%である。</p> <p>①について、県教委が推進する「学びに向かう力を育むひなの学び」を意識した授業改善に取り組んでいる。あわせて、本校で実施された県へき地・小規模校研究大会に向けて、複式指導の充実について研修を深めてきた。また、週1回・朝の時間を「学力向上」の時間とし、発想力や学びの基本の育成に励んでいる。11月に行われた学力テストでは、過去問やタブレットPCを活用した学習に取り組ませながら、学力向上に努めた。今後は、学力テスト結果の分析を通して、児童の弱点の補強に努めていきたい。</p> <p>②について、作品応募を通して、絵画や俳句、自由研究などで、多くの作品が優秀な賞に選ばれた。今後も、積極的に作品募集に取り組み、児童の自信や意欲につなげながら、表現力の育成に努めていきたい。</p> <p>③について、読書の目標冊数を学年ごとに設定し、読書活動の推進に努めてきた。また、ビブリオバトルを実施したり、週1回、読み聞かせボランティアの時間を設けたりしながら、本に親しむ環境づくりに努めている。児童の評価が低いので、今後は児童への充実感をもてるような工夫に取り組んでいきたい。</p>	3	<p>○ 今年度は、読書についての児童の満足度が低いが、まずは本を手にとって欲しい。そして、興味をもてる本からでもよいので読んでいきながら、読書への関心を高めて欲しい。そのために、図書館等で各学年ごとに興味をもちそうな本のタイトルを提示するなどの工夫に取り組んで欲しい。</p>
	②学校は、集会における発表や作品応募をとおして、表現力の育成に努めている。	3.2	3.1	3.5	3.3				
	③学校は、読書の時間や「家読」をとおして、読書の習慣化に努めている。	2.7	3.1	3.5	3.1				
危機回避能力と豊かな心の育成【徳】	④学校は、避難訓練、集団下校等をとおして、危機回避能力の育成に努めている。	2.9	3.3	3.5	3.2	3.1	<p>総合評価は、4点満点中「3.1」で、達成率は92%である。</p> <p>④について、年間6回実施の避難訓練で、児童・職員が危機意識をもって地震や津波、火災等への対応について取り組んでいる。避難訓練の反省では、警察署や消防署の方から、称賛の声をいただいている。今後は、児童が自ら考え、判断して、行動できる実践力の育成に努めていきたい。</p> <p>⑤について、高学年を対象に市医療介護課保健師を招いて「SOSの出し方教室」を実施したり、道徳の授業で計画的に人権や命の尊さについて学んだり、全校朝会等で命の大切さについて話したりしながら、思いやりの心の育成に努めている。また、異学年交流について、委員会活動等のメンバーや活動内容を工夫、助け合い、支え合える児童の育成に努めている。児童の評価が低いので、今後は一人一人の児童の状況について全職員で協議し、共通理解しながら、児童が互いにかげがえのない集団を築けるよう支援していきたい。</p> <p>⑥について、毎学期実施している地区集会や日常場面等で指導を行っている。児童の評価が低いので、今後は自信をもって挨拶することを引続き奨励するとともに、まずは職員から声をかけることを共通実践していきたい。</p>	3	<p>○ 社会的に児童の言葉遣いが激しいなどが挙げられる。原因として家庭環境があるかもしれないが、メディアの影響が大きいのではと考える。子供達は、メディアで触れた言葉を興味本位で使ってしまう場面がある。学校等で、子供達が不用意に使ってはいけない言葉や、相手を傷つける言葉を発した時は、厳しい指導で対応して欲しい。</p> <p>○ 子供達の挨拶について、地域では自分からしている場合が多いように感じる。大人から子供達に声をかけて互いに挨拶することが大切だと考える。</p>
	⑤学校は、命を大切に教育や人権教育、異学年交流をとおして、思いやりの心の育成に努めている。	2.7	3.0	3.5	3.1				
	⑥学校は、「挨拶・返事・片付け・言葉づかい」等の基本的な生活習慣の定着に努めている。	2.4	3.0	3.5	3.0				
たくましい体の育成【体】	⑦学校は、体育の授業や「体力向上」の時間等をとおして、体力向上に努めている。	3.4	3.1	3.5	3.3	3.3	<p>総合評価は、4点満点中「3.3」で、達成率は95%である。</p> <p>⑦について、毎朝ストレッチや運動会等の体育的行事の時期に、朝の時間で実施している「体力向上」の時間の成果として、5年生を対象にした体力テストの意識調査で、全児童が「運動やスポーツが好き」について肯定的な回答をした。しかし、課題であった「柔軟性」については改善が必要な状況である。今後は、引き続き、児童が楽しみながら目標をもって体力向上に取り組めるよう工夫するとともに、柔軟性の向上に努めていきたい。</p> <p>⑧について、養護教諭を中心に、学級担任と連携して食育や健康指導に関するチーム・ティーチングの授業を行ったり、保護者へ児童の健康状況を示した文書を出したりするなどの啓発に努めている。今年度は、特にメディアとの付き合い方について取り組んだ。今後も、継続して健康的な生活習慣の定着に努めていきたい。</p>	3	<p>○ ゲームや動画などのメディアについては、上手な付き合い方を引き続き指導していきながら、依存症に陥らないようお願いしたい。また、メディアに触れ合う時間が長くなることで、学力不振や体調不良等になることを、子供達に分かりやすく伝え続けて欲しい。中学生以降の子供達について、ゲーム等での課金が問題になっているので、合わせて指導をお願いしたい。</p>
	⑧学校は、食育指導や健康指導をとおして、健康的な生活習慣の定着に努めている。	2.9	3.1	3.5	3.2				
開かれた学校づくりの推進	⑨学校は、くしま学、総合的な学習の時間をとおして、「くしま愛」の育成に努めている。	3.3	2.9	3.5	3.2	3.2	<p>総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率は94%である。</p> <p>⑨について、くしま学での学習を進める中で、発達段階を意識した課題設定や体験活動を計画的に実施することで、児童が意欲的に学ぶ姿が見られている。また、校外での体験活動や地域の方々とのふれあいの機会も少しずつ増えてきた。今後は、活動後の児童の成長を見届けながら、ふるさと愛の向上に努めていきたい。</p> <p>⑩について、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、徐々に外部の人材や施設の活用が図られつつある。今後も、保護者や地域社会の願い等を踏まえながら、校外学習や外部人材の活用を積極的に取り入れ、より一層開かれた学校づくりに努めていきたい。</p> <p>⑪について、「学校だより」を発行したり、学校のホームページを活用したりしながら広報活動に努めている。今後も、定期的に「学校だより」の発行や、学校ホームページの更新を行いながら、積極的に情報発信を行っていく。</p>	3	<p>○ 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、これからも運動会での高齢者参加など、地域に開かれた学校づくりを推進して欲しい。以前のように、高齢者クラブへの参加呼び掛け等も行って欲しい。</p> <p>○ 地域高齢者クラブが実施しているグランドゴルフに参加している児童もいる。地域行事に児童が積極的に参加し、地域を盛り上げて欲しい。</p>
	⑩学校は、授業に「地域の内容」や「外部の人材」活用をとおして、開かれた学校づくりに努めている。	2.8	3.1	3.5	3.1				
	⑪学校は、学校だよりや学校WEBをとおして、広報活動に努めている。		3.0	3.5	3.3				